

ま ち の 話 題

豊 岡

海開きに先駆けて

ミニボートフェスティバル2010
「気比の浜大会」

5月22日と23日の2日間、ミニボートフェスティバル2010「気比の浜大会」が開催されました。これは、ミニボートの安全運航のためのルールやマナー向上の普及啓発を目的として開催されたものです。

初日は、ミニボートの親子体験試乗会が行われ、参加者の齋藤 寿さん(養父市)は、「思ったよりスピード感があり、海が近くて、子どもが大喜びでした」と話していました。また、地引き網体験もあり、大勢で引いた網には、たくさん魚が飛び跳ねていました。

23日は、雨の中、28艇のミニボートによる釣り大会が行われ、釣果を競いました。



▲海は広いな、大きいな♪楽しいミニボート試乗会

城 崎

城崎ゆかたフェスタ2010

日本一ゆかたの似合うまちで

美の競演!!

6月5日、城崎温泉街で城崎ゆかたフェスタ2010(同実行委員会主催)が開催され、浴衣のファッションショーや「ミスゆかたコンテスト」などで、温泉街は沸き立ちました。これは、「ゆかた」の魅力と城崎温泉の風情・情緒を全国に発信するために開催したものです。ショーでは、プロのモデルや地元高校生、旅館従業員らがあでやかな新作浴衣に身を包み、地蔵湯横のステージから太鼓橋までの北柳通りをさっそうと歩き、観光客からは思わずため息が漏れていました。モデル初体験の田中美花さん(香住高1年)は「すごく緊張したけど楽しかった」とほお染めていました。



▲観光客らを魅了したゆかた美女たち

竹 野

育てたナメコで何を作ろう?

第2回木の子の教室

6月6日、竹野南森林公園で「第2回木の子の教室」(竹野南里山の会主催)が開催されました。今回の教室ではナメコのホダ木(キノコ類栽培のための木)作りを行いました。本来、ホダ木には広葉樹を利用しますが、針葉樹で代用することに誰もが驚きました。最初に道具の使い方を教わった参加者らは、早速、のこぎりでヒノキ間伐材を切り、電気ドリルで穴を開け、駒菌(ナメコのもと)を植付ける作業を体験しました。

参加者は「適切な管理でナメコは育つ」という竹野南里山の会の言葉を胸に、育ったナメコを思い描きながら帰途に着きました。



▲お母さんと一緒にナメコの駒菌を植付けたよ!

日高

神鍋ハワイアン大会

ハワイの雰囲気を感じ神鍋で!!

6月6日、道の駅「神鍋高原」(日高町栗栖野)で、神鍋ハワイアン大会(道の駅「神鍋高原」主催)が初めて開催されました。

3つのハワイアンバンドが、本場ハワイの音楽を陽気に演奏し、フラダンスチームやサルサチームが、情熱的な踊りを披露しました。ハワイアンの音色を聞きつけ、集まった約60人の観客は、忙しい日常を忘れ、ほんのひととき、常夏の島ハワイを体感していました。

主催者の原 啓一さん(日高町万劫^{まんごう})は「神鍋で音楽の文化を育てていきたい。そして、いずれは神鍋高原の森の中で演奏会を開催したい」と話していました。



▲演奏と踊りを披露する地元神鍋の「レインボーフレンズ & マヒナ・フラ・クラブ」の皆さん

出石

姿勢と呼吸を整えながら 心の癒しを体験しよう!

6月1日、宗鏡寺(出石町東条)で、坐禅体験のお披露目が行われました。

この企画は、宗鏡寺と出石まちづくり公社が連携し、体験型観光として、7月1日から11月30日まで実施するものです。坐禅のほか、境内の案内や住職の法話(お茶・菓子付)が大人1人1,000円(中学生以下500円)で体験できます。

この日は「玄さん」や出石まちづくり公社の関係者など6人が参加。「トライやる」で同公社を訪れていた岡野愛梨さん(出石中2年)は「初めての坐禅で足がしびれたが、心が落ち着いて良かった」と話していました。



▲住職から警策(肩を打つための棒)をいただく玄武岩の「玄さん」

但東

全国訪問おはなし隊

おはなし隊が但東にやって来た!

5月15日「全国訪問おはなし隊」のキャラバンカーが但東総合支所前にやって来ました。「おはなし隊」は、たくさんの児童書をキャラバンカーに積んで全国を回り、子どもたちに本との出会いの場を作っています。

当日、参加した子どもたちは、キャラバンカーに積んである本を自由に手に取って、読んだり、お母さんに読んでもらったりしていました。

また「おはなし隊」隊長と地元ボランティアの絵本の読み聞かせや紙芝居も行われ、親子で楽しく本と触れ合う時間を過ごしていました。



▲たくさんの本を積んだキャラバンカーから好きな本を手に取り、読む参加者たち